

幌別西だより

平成30年9月7日

第8号

< 教育目標 >

心豊かで たくましく生きぬく

実践力のある 人間の育成

登別市立幌別西小学校

TEL : 0143-85-2364

FAX : 0143-85-2025

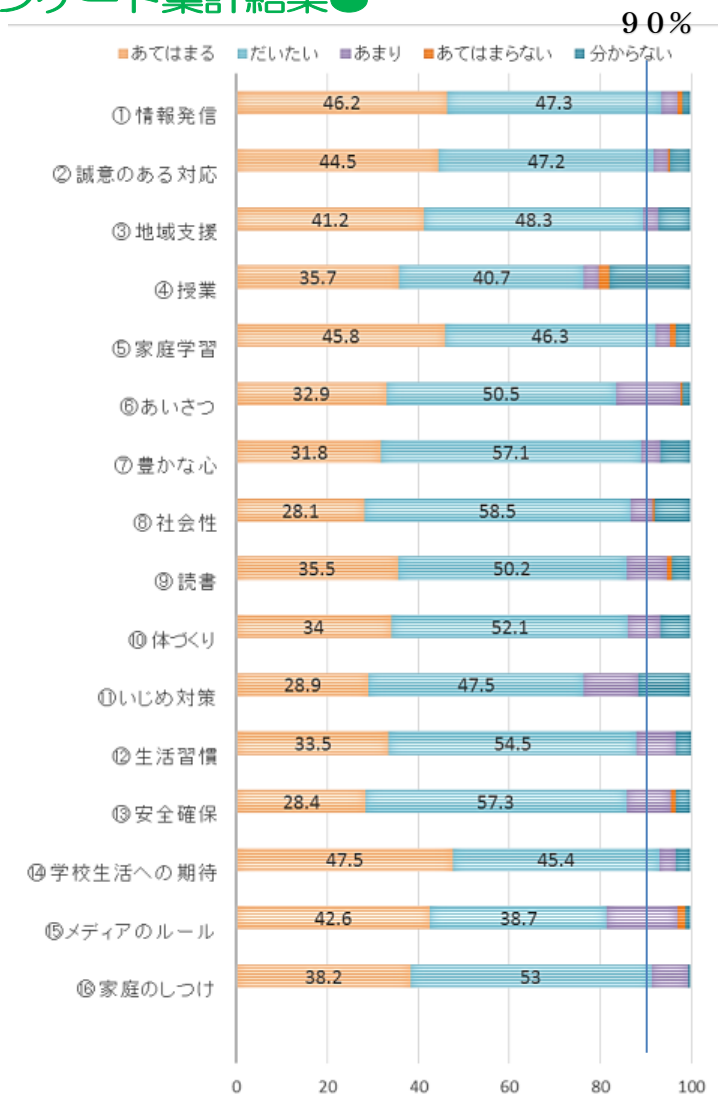
7月学校評価へのご協力ありがとうございました

1学期末に行った学校評価へのご協力ありがとうございました。多くのご家庭にご協力いただき、たくさんの方が集まりました。「良い」という評価の部分は今後も続けていきます。改善が必要と指摘された部分については、学校の考え方とあわせて、今後改善に向けて検討させていただきます。

以下、結果の紹介と分析を掲載します。また、同様のアンケートを12月も実施して取組の検証に活用していきます。

●保護者アンケート集計結果●

- ① 学校は、学校だより・ホームページ・学年学級通信等を通して、教育活動や子どもたちの様子をわかりやすく伝えている
- ② 学校は、子どもの相談や連絡、保護者の願いや要望に対して、誠意をもって対応している
- ③ 学校は地域の施設や人材を活用した授業や放課後学習サポートなど、様々な支援、協力を得て教育活動の充実に取り組んでいる
- ④ 学校は、習熟度別学習や複数教員の指導など、子どもたちが「分かった・できた・使えた」と実感できる授業を提供している
- ⑤ 学校は、家庭とともに子どもが毎日家庭で学習する習慣づくりに取り組んでいる
- ⑥ 子どもたちは元気に挨拶できる
- ⑦ 学校は、生命を大切にする心や思いやりの心、ともに協力し合う力など、子どもの豊かな心を育てている
- ⑧ 学校は、より良い人間関係づくりや規則順守の態度など、子どもの社会性を育てている
- ⑨ 学校は、子どもに読書への興味関心や楽しさを味わわせるなど、子どもの感性や情操を育てている
- ⑩ 学校は、運動の楽しさを体感できる体育科の授業の工夫など、子どもの体づくりに取り組んでいる
- ⑪ 学校は、いじめに関する情報を提示したり、「いじめは絶対に許さない」という意識を子供たちに育てている
- ⑫ 学校は、家庭とともにメディアの使用時間の啓発や、早寝早起き朝ごはんなど、子どもの望ましい生活習慣の定着を進めている
- ⑬ 学校は、スクールゾーンの周知や交通安全指導、不審者対策など、子どもの安全確保に十分配慮している
- ⑭ 子どもたちは、学校生活を楽しみにしている
- ⑮ 私(家庭)はメディアの使い方について、ルールや約束事を決めている
- ⑯ 私(家庭)は、子どもたちに「挨拶・返事・靴をそろえる」が身につくように教えている



肯定的評価が90%を越えているのは、「①情報発信」「②誠意ある対応」「⑤家庭学習」「⑭子供は学校を楽しみにしている」「⑯家庭のしつけ」でした。今年の特徴は「家庭学習」に関する評価が上がっていることです。ご家庭からの協力が少しずつ実を結んでいることの実感を感じています。

◆保護者評価 記述欄◆

■本校の教育活動のよいところ

- 入ったばかりなのでまだよくわかりません。でも先生は、一人一人をきちんと見てくれると思う。
- 上級生が、とても優しく思いやりがある場面に度々遭遇しています。自分の子にもそう心がけるよう話しています。
- 上級生が下級生の面倒見が良いと感じることが多々ありました。
- 他学年との交流
- 他の学年との交流が多く、上級生と係ると近い未来を想像しやすく、下級生とのかかわりで優しさや譲り合いの気持ちを学ぶ機会になっていて、ありがたいです。
- 校外学習や世代間交流を取り入れているところはとても良いと思います。
- 地域施設の見学（保育所・市民会館等）へ行き、そこで働く方たちに話を聞くなどなかなかできない体験を授業でしているので、とても良いことだと思います。
- どの学年の子も、高学年の子が低学年の子の面倒をよく見ていることが素晴らしい！と、学校行事で来校するたび感動しています。
- 算数の時間のたびに、習熟度別指導のもとで授業を行えるところがよいと思いました。
- (問1について) 学級通信でとてもよく伝えてくださりとても感謝しています。ただ、学級、担任により、とても対応にばらつきがあるのが残念です。
- 児童たち、元気に挨拶してくれます。
- 小6になってもランドセルを大切に使うところ。他校では小4位からリュックにする子が多いと思うので。
- 色々な行事に積極的に取り組んでいると思います。先生方それぞれが一生懸命授業や行事に取り組まれているなあといつも感じています。
- 先生方は教育熱心で、子供は授業が楽しいと言っています。いつもありがとうございます。
- コーディ先生がいらっしゃってネイティブな感覚が養えるところ。不在のときにも担任の先生によるショーディ先生がいらっしゃったりと創意工夫がなされていて素敵である。
- 家庭学習に対する取組のおかげで、習慣化することができました。
- 体育活動が多く行われているところ。
- 朝読書
- 先生・児童・保護者が共に協力し合い、子供達の良いところを伸ばしていく活動ができていると思います。
- 先生達が皆子供達への愛情が素晴らしくて本当にありがたいです。
- 明日中等教育学校の協力があったり、ALTの方がいて英語を学ぶ機会が多いことは、将来に役立つ取組としてよいと思います。
- 一人一人を見ようと努めているところが素晴らしく、基本的なところなのでこれからも全体の一人ではなく、個別性を育ててほしいと思います。
- あまり外で子供達の苦情等を聞くことがありませんので、学校生活でご指導をしていただいているのだと思っています。
- 先生方が明るく、学年の違う生徒にも声をかけてくださるところが素晴らしいと思います。
- 先生が、子どもの様子をよく見ていて、適切な対応をしてくれている。子供達の作品や学校写真などで普段の様子がわかりやすく展示してくれている。
- 元気な挨拶がみんなできるところ。
- 地域と密接した授業が多く、良いと思います。
- 朝読書と家庭学習の取組がよいと思います。
- 他の学校と同じなのかもしれませんが、男女の仲の良さはよいところだと思います。
- 先生方に活気があり、授業も一生懸命に子供に伝えようと考えられているのがわかります。子供達も授業に積極的に取り組んでいると思います。

「上級生が下級生の面倒をみるところ」の声が多いです。上級生も下級生から学ぶことも多く、下級生もそんな上級生の姿を見て育っていきます。これが、幌別西小学校が育んできたよき伝統だと思います。幌別西小学校の良いところは、これからも学校・保護者・地域で伸ばしていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

■更に充実を期待したい教育活動、改善が必要な教育活動

◆学習に関して

- ・勉強についていけない子の指導をもっと頑張ってもらいたい。自分が昔勉強が嫌いだったので、子供には勉強を楽しく思ってもらいたい。
- ・外国語はとても楽しく学んでいるようなので期待したいです。
- ・学習サポート（放課後）低学年のうちから行ってほしいと思う。行っている学校もあるので。
- ・放課後学習サポートは高学年の疑問にもしっかり対応できているか・・もっとくわしい情報がほしい。習熟度別指導での様子や内容を、担当の先生からたまにでもお便りが出るとうれしい。
- ・特に外国語、授業で知った！解った！と喜ぶものの定着がなかなかなので、翌日や翌週（週明け）等に、朝や帰りの会等で突発1問～3問テストがあると、家でも会話に出てよいか～など。
- ・子供の授業のときの発言や、行事のときに、発表の声のトーンが低いと思います。
- ・作文を書く機会を増やしてほしいです（毎年、夏の読書感想文のとき頭を悩ませているので）
- ・外国語をしっかりと同時に、礼節をもう少し指導していただけるといいです。
- ・スキー授業をもう少し増やしてほしいです。
- ・朝読書のように、体力づくりのために柔軟や体操の時間があればよいなと思いました。
- ・もう少し体を動かすことをしてほしい。特に冬。スキー学習など増やしてほしい。
- ・体力づくりに期待しています。走る機会をもっとふやしてほしいです。
- ・季節柄の授業、夏はプール、冬は何かウインタースポーツなど、北海道ならではの何かあれば・・・と。
- ・音楽室や外国語の教室など、机と椅子がないのは姿勢が悪くなると思います。床作業のほうが良いときは別として、床に直接座るのもどうかと思います。トイレに行った上靴で歩き回っている床に、リコーダーや鍵盤ハーモニカなど口にするものを置いたりすることに抵抗を感じました。

○放課後学習サポートに関する要望について～市教委、地域のボランティアの協力を得て実施しています。現在のボランティアの人数（現在10名）からすると、これ以上学年を広げるのは難しいというのが現状です。ちなみに、市内の他校では主に5年生以上が対象で、4年生以上で行っているのは西小ともう1校だけだそうです。ご理解をいただけたらと思います。

○外国語教育への期待をひしひしと感じます。市でも積極的に教員の外国語指導の研修に取り組むなど、外国語教育の充実をめざしていきます。

○音楽室の座席について～音楽室については、今後登別市に机と椅子の予算要望をしていきます。外国語については、授業の内容（体を動かす内容や、文字を書く内容）に応じて、教室を使い分けて進めていきます。

○体力づくりについて～本校は、体力づくりについて多彩な取組と内容の充実を進めており、体力テストの結果も出ています。他の授業との兼ね合いもありこれ以上広げることはなかなか難しい部分もありますが、子供の体力向上の取組を今後も充実させていくことは必要と考えています。

◆生徒指導に関して

- ・交通安全指導をしたほうが良いと思います。車道も歩道も区別がつかないのかな～と思うときがあります。
- ・物騒な時代なので、もっと不審者対策、集団登校を増やしてほしい。
- ・まだ、いじめということはないと思うのですが、家庭ではもちろんですが、低学年のうちからグループディスカッションのように、クラス等で子供達に話し合う機会があると、仲間を大切にしたり、助けてあげたり、助けを求めたりすることができる意識作りになるのではと思います。
- ・交通ルール（特に自転車の乗り方）など、もっと低学年のうちから指導してはどうかと思います。車から子供達がどのように見えているかなど、DVDなど用いても良いと思うので、指導を行ってはどうか。今は、低学年から自転車に乗っているの。
- ・担任に児童への注意、間違っていることを違うということを指導してくれるやり方に疑問を感じています。

- ・通学路や信号の各所で見守る回数を4,5月は1年生のために増やしてほしい。
- ・ずっと気になっていたのですが、なぜ登別市（全体）の学校の交通指導で自転車に乗るときヘルメット着用の教えがないのですか？不思議でなりません。＊転勤前の地域では、学校の規則としてヘルメットの着用が義務付けられていたり、幼児からヘルメットは当たり前のように着用しておりました。
- ・問16の「挨拶・返事・靴をそろえる」は、大人でもできていない人が多いので、子供達（児童会）を中心に、子供同士でお互い注意し、できている子には何か表彰するだとかして高めあっていると、更に素晴らしい西小になると思います。
- ・メディア機器の使用については、子どもが小さいうちは親の責任が10割だと考えますが、西陵中でも子供達で注意しあっているがんで、西小っ子も自分で使用時間など良く考えられるように頑張ってもらいたいです。

○自転車指導について～自転車の乗り方については、4月の交通安全教室は、1年生は自転車よりも登下校の歩き方が優先事項になります。学級指導等を活用しながら、自転車について注意喚起しています。ご家庭でも、低学年のうちはあくまで家の周りしか自転車に乗れないことを徹底してください。

○自転車の乗り方については、北海道自転車条例では、ヘルメットの着用や自転車損害賠償保険の加入、反射器材の取り付け等が努力義務としてうたわれています。改めてその周知に、学校としても取り組んでいきます。

○現在、毎学期の初めに3日間ずつ交代で教員が朝の登校指導（勤務時間外）をしているのと、月初めにPTAと青少年育成協議会（地域の方々）で朝と放課後の見守りをしています。不審者対策や通学路の見守りなど、子供の安全対策については、地域の育成協やPTAなど関係諸機関と考えていきたいと思っています。

◆その他

- ・また、昨今話題になっています「重すぎるランドセル」問題について、西小でも早急な対応と改善が必要ではと感じます。骨格形成や身体負担に影響が出てからでは心配です。低学年では特に体重の10～20%を越えないことが望ましいとされています。家庭学習として必要な物は持ち帰る。それ以外の教材の保管を認めていただきたいと思います。
- ・運動会の競技、毎年同じで飽きる。
- ・冬場の学年学級レクの時間（終了時間）を早めにしたほうが良いと思います。子の学年ではないのですが、昨年冬のレクのとき15：30ころに終わったようですが、親が来ていない家庭だったため歩いて帰宅したようで、普通でも50分くらい通学にかかるので、その子は帰る途中暗くなったようです。懇談をレクの後にするなど・・・特に低学年は帰宅時間に気をつけてほしいと思います。
- ・漢検も学校で受験できるので、英検も受検できたら便利だと思います。
- ・学校へ行くのが楽しいと感じられるような取組があるとうれしいです。
- ・クラブ活動の日が増えるといいなと思います。
- ・クラブ活動が、回数が少ないのかなと感じました。
- ・アンケートに記名は不要だと思います。学年とクラスのみで良いと思います。
- ・天候などで臨時休校になるとありますが、外で働いているので、家に残していくのも心配です。
- ・部活動を作ってもらいたいです。

○ランドセルの問題については、中学校と連携を取りながら、子供の負担について考えていきます。

○レクの時間については、今後のPTA活動に生かしていくよう申し送ります。

○クラブ活動については、新学習指導要領の本格実施による授業時数の増加により、これ以上増やすことは難しいと考えています。

○小学校での英語検定の実施は、対応する人員の面と、受検者数の見込みから今のところは考えていません。

○アンケートの記名については、発言に対しての責任を保護者の皆様にも負っていただくことが必要と考えています。その点を踏まえて学校としても真摯に回答していきたいと考えますので、保護者の皆様にもご理解をいただきたいと思います。